



Light Up Rotary
「ロータリーに輝きを」

第 2463 回例会 2014 年 7 月 30 日 (水) SAA (司会) / 会員 会報担当/箕輪会員

事務局 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 TEL.0438-38-3535 例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1

- 点 鐘 市原 RC 会長 宮地勝廣
- ソング 奉仕の理想
- お客様 木嶋先生 (市原中央高校)
渡辺佳織 OG (PJ 派遣)
本年度派遣予定の生徒・
末吉 美晴さん 宮島 滉弥君 白井 美羽さん
宮田 祐 君 杉本 麗衣さん

- 会長挨拶 市原 RC 会長 宮地勝廣



皆様こんにちは、

本日は市原中央高校の木嶋先生とインターアクトクラブの生徒さん5人と渡辺佳織さんが来られています。本日はマレーシア派遣生徒の出發に先立ち派遣に向けての抱負を述べて頂きます。尚、渡辺佳織さんは2008年に派遣の経験があり、経験談を語って頂き5人の生徒さんの為に本日協力いただきました。詳しくは上野国際奉仕委員長から案内が後程ありますので皆さんよろしくお願ひ致します。

さて会長挨拶ですが、7月27日にロータリー情報研究会がありました。三宅クラブ奉仕委員長・津留会員(幹事の代役)・私で参加してきました。基調講演が「ロータリーの変革とこれからの対応」です。クラブ研修リーダーの役割の話でした。なぜ、リーダーシップが必要なのか?それは、私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動をする為には、ロータリアン一人一人が、ロータリーを本当に理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションを活発にして、クラブの活動につなげて行く必要が有るからです。クラブのリーダーはクラブ会長とクラブ研修リーダーと言う事ですが、我がクラブは研修リーダーがおりませんので、クラブ奉仕委員長がその役目を担います。会長はクラブと理事会の会合の議長を務めロータリーの奉仕プログラムの推進を監督します。又、クラブ研修リーダーはクラブ研修を充実し、年次目標の達成を支援します。又、長期的な視野で、会員の指導力開発を

推進します。それは、指導者の育成と継続性の確保を実施する為です。

次に「クラブ研修リーダーの任命と役割」ですが、クラブ研修リーダーの任命はクラブ会長エレクトが行い、他の役職兼任も可となっております。又は、資格は特に要していないので、研修・教育の技能を持ったパストガバナー、パスト会長、ロータリー情報委員会委員長などが望ましいとなっています。今後は我がクラブもクラブリーダーシッププラン(CLP)の準備を実施し、充実した組織作りに着手して行きたいと思っております。

本日も時間が御座いませぬので次回の例会に続けたいと思います。この辺で会長挨拶と致します。ありがとうございました。

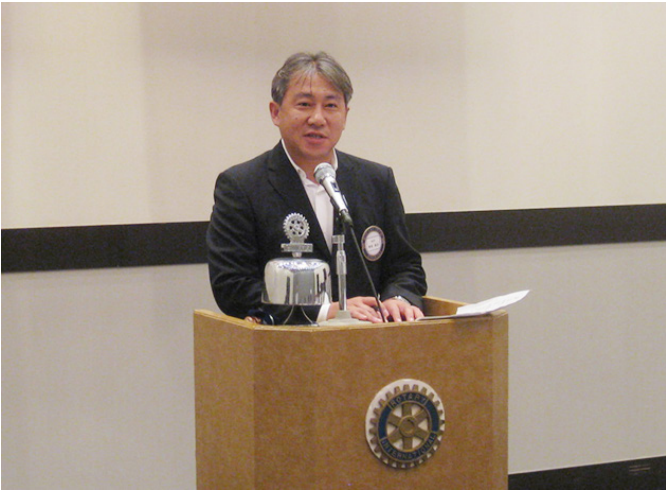
●幹事報告

- ① 8月のロータリーレートは102円です。
- ② 8月6日(水)はガバナー補佐公式訪問です、例会に引き続きクラブ協議会です、特に5大奉仕委員長と小委員長は、は出席して頂く様お願ひ致します。時間が少し延長になると思ひます、宜しくお願ひ致します。
- ③ 8月26日(火)ガバナー公式訪問が予定されてます、市原中央RCとの合同となります、曜日が変わりますので、前もってご都合の調整お願ひ致します。
- ④ 8月1日(金)広報公共イメージセミナー 13:00～(箕輪会員)
8月3日(日)クラブロータリー財団セミナー 13:00～(宮地会長・小澤会員)宜しくお願ひ致します。

～メインプログラム～

市原中央高校インターアクトクラブPJ派遣について
渡辺 OG より「PJ派遣についてみて」





●ニコニコ・ソーリー

宮地会長・本郷幹事

本日は市原中央高校の木嶋先生、生徒の皆様又、渡辺様来会ありがとうございました。マレーシア派遣行事気を付けて行ってきてください。又、渡辺様、経験談をありがとうございました。大木会員、新規入会おめでとうございます。

●出席報告

前々回確定 67.44% 本日出席 28 名

欠席 14 名 本日出席率 66.67%

●点 鐘 市原 RC 会長 宮地勝廣

派遣に向けての抱負

市原中央高等学校 宮田 祐

私はこのプログラムに参加して、やりたいことが2つあります。

1つ目は、英語をたくさん使ってホストファミリーの方や、現地の方とたくさんコミュニケーションをとることです。中学校、高校とほぼ毎日英語に触れてきましたが、生活する中ではやはり日本語の割合の方が多く、今回のような経験は今までした事がなく、日本のように簡単に意思の疎通ができない環境に入ることは自分にとってとてもいい経験になると思っています。また、私は将来留学をしようと思っているので、短い間ですが、たくさんいろいろなことを吸収し、今回のプログラムで経験したことを活かしていきたいと思います。そして、今回のプログラムを通して出会った人、一人一人との出会いを大切にし、とくにホストファミリーとは帰国後も連絡を取り合い、今後マレーシアに行く事があれば挨拶に伺い、一生付き合っていけるような関係を築きたいと思います。

2つ目は、海外の事、マレーシアの事についてもっと理解を深めることです。私は幼少期、実際にマレーシアに住んでいたことがあります。私がいたのは、ペナン島という西側にある島と、クアラルンプールです。両方ともマレーシアの中では発展している方ですが、やはり開発途上国ということもあり、様々なことを目にしてきました。良いことばかりではありませんが、それ以上にマレーシアの人々の温かさは深く胸に焼き付いています。そして、いろいろな民族の方と触れ合っていく中で、もっともっといろんな事を知りたいと思うようになりました。異文化理解を深めたい思ったことが自分の原点で、マレーシアではいろいろと大変なこともありましたが、こういう経験が今の自分を成り立たせていると思います。こういう経験をしていなければ、海外に興味を持つこともなく、何よりも、日本という素晴らしい国で当たり前な事を当たり前でできることのありがたさにも気づくこともなく普通に生活していたかもしれません。住んでいた事はありますが、実際に現地の方と生活するのは初めてなので、もっともっと両国の事を知る機会になればいいなと思います。

私は日本もマレーシアも大好きです。

なので、自分がマレーシアに行き、たくさんの事を知り、それをたくさんの人に伝える事で、マレーシアのことを好きになってくれる人が増えたらいいなと思っています。一人でもマレーシアのことが好きな人を増やすことと、日本とマレーシアとの交流を深めることが今回派遣に行かせていただく、ロータリーの方々、自分を育ててくれた、マレーシアと日本の為にできる自分なりの恩返しだと思っています。

最後になりますが、このような機会を与えてくださりありがとうございます。

今回の経験を活かし、インターアクトの一員として、日本国民であることを自覚し、たった1人の力かもしれませんが、日本のため、世界のためにいま自分にできることを考え、行動し、貢献していきたいと思います。

市原ロータリークラブの皆さんこんにちは、市原中央高校2年の宮島滉弥です。

今回マレーシア派遣に参加させていただけることを感謝しています。ありがとうございます。

私はマレーシアの派遣に参加させて頂けると知りマレーシアについて調べ多国籍、多文化、多言語の国であるとわかりました。調べたことをもとに目標を立てました。

まず1つ目はマレーシアの文化を身をもって体験し学んできたいとおもいます。私はアメリカに行ったことがありますがお互い色々な文化の違いを学び帰国後の生活に役立てられたので今回のマレーシア派遣でも学んできたいとおもいます。

2つ目は積極的にコミュニケーションをとっていきたいと思います。

私は英語コースではなくけして英語が得意ではありませんがジェスチャーなどを交えて積極的に話をしたいと思います。そこでホストと早く打ち解ける事でお互いの気持ちが伝わりやすくなり、毎日不安な気持ちでドキドキ過ごすのではなく楽しく安心して過ごす事ができることとおもいます。なので今回も恥ずかしいという気持ちを捨て、少しでも多く会話をし、早く打ち解けて充実した10日間にしたいと思います。

3つ目はマレーシアの食文化を感じて来ることです。

マレーシアには世界各国からたくさんの人々が集まり暮らしています。そのためたくさんの宗教があり、文化があります。そのため食べていい物などいろいろな宗教の決まりがあります。調べてみると主に4つの料理系統に分かれていました、スパイスやハーブがふんだんに使われたマレー系、本場の中華料理よりスパイスが多様な中国系、イスラム教徒に多く食べられているというインド系、マレー料理と中国料理をミックスしおいしいところだけを残したと言われるニョニャ料理があるようです。出された料理はまずは茶連木してみようとおもいます。日本ではめったに食べるのでできない食事ばかりです。朝ごはんなども朝から屋台などに出向き食べると聞きました日本ではけして体験できることではないので楽しみです。また、日本で食べられないフルーツがたくさんあるようなので味わって来たいと思っています。

4つ目は私は高校で放送委員会に所属していますなので現地の写真動画などをたくさん撮り他のインターアクトメンバーに紹介しマレーシアの雰囲気を伝えたいと思います。また、撮った写真などを使い校内に見て楽しめる掲示物をつくりたいとおもいます。またこれからのインターアクトの活動に役立てていきたいです。

5つ目は目標というより私の願望ですがマレーシアの歴史的建造物と近代的な建造物を訪れてみたいです。マレーシアはツインタワーが近代的建造物ですが身近に寺院などもあるようなのでおとずれたいです。建物の造りなどはその国独自の気候などに合わせて造られているのでその点なども注目したいです。

6つ目は今回派遣させて頂けるにあたり私は旅のしおりを作成しました。その内容などがどのくらい正確か、入っていたほうがよかった情報がわかると思います。現地ではしおりの役立ち具合も自分なりに知れたらよいと思います。しおり作成にご協力いただいた方に

は感謝いたします。

最後に何事にも挑戦し一日一日を楽しんできたいとおもいます。小型機での遊覧飛行も計画していただいているようなので楽しみにしています。マレーシアでは5人で協力し怪我や病気には十分注意してまいります。小さな親善大使として帰国した際には皆様に素晴らしい体験談をお話できるように元気に自信を持って派遣を楽しんでまいります。

みなさんこんにちは。市原中央インターナ
ワトリクラブの杉本麗衣です。私は、まだ小さ
い頃に海外に行ったことがあります。マ
レーシアへ、しかも引率無しといっただけ
行ったことがありませんでした。私にこのよ
うな機会をくださった方々に厚く御礼
を申し上げます。

めったにできないようなことなので、たか
さんの素晴らしいものを見たり、触れたり、
感じたりして、これからのインターナ
ワトリクラブで、

の活動や、私自身に生かせるスキルを身につ
けて帰ってこようと思います。

マレーシアの有名な食べ物、建物など、や
りたいことは山のようにあります。私の中
での目的は2つあります。一つ目の目的は、
「異国の文化を知る」ことです。私はこれま
で日本からあまり出たことがないです。から、
日本の文化しか知りません。日本より外の世
界を全く知らないのです。たかさんの人が海
外に出て活躍しているこの世の中、異国の文

化を知らないと社会で通用しないと思います。
言葉、歴史、生活スタイルなど、数多くの違
いがあります。日本の文化を基準にするので
はなく、世界の文化を基準にしなければ、国
際化がどんどん進むこの世の中においていか
れてしまいます。今回はホームステイという
形での滞在ですから、マレーシアの文化にた
くさん触れられると思います。日本とマレー
シアの文化の違いをよー感じてこようと思
います。

そして二つ目の目的は、現地の方々とコ
ミュニケーションをとることです。これは
私の性格の問題になってしまいましたが、私
人と話をするのが苦手です。日本人は消極
的でシャイな性格と言われていますが、私の
性格がまさにそうなのです。しかし、外国人
と話す時だけは少し積極的になれるのです。
私は、物心ついたときから覚えていた日本語
で、日本語と会話するよりも、最近になっ
て少しおっ覚えしてきた英語で外国人と会話を
す

る方が楽しいと感じていました。「言葉が通
いずか分からないけど会話をしなくてはいけ
ない」という気持ちですが、私の責極性につな
がったのではないかと思っ
ています。ですから、
異国の地で十日間、一人でのホームステイ。
このような環境なら、会話だけでなく、行動
にも責極性が表れると思います。そういつた
私自身の成長のためにも、このような環境に
自ら行くことが大切だと感じます。ホームス
テイプアシリだけではなく、現地の多くの方
々とコミュニケーションがとろうと思
います。最後になりましたが、日本人として恥か
れないような心持ちと礼儀をわきま
えて、マレシ
アシアへの研修に臨みます。ご声
聴ありがとうございます。
うございました。

が、た自分にはたくこん出今えそのた3うと、
 で、このめマレシイ研修では今まで知らな
 自、分、な、の、め、で、は、な、い、か、と、思、え、ま、す、の、が、
 自、分、に、つ、い、て、一、番、知、り、た、い、と、思、っ、て、い、い、ま、す、の、が、
 分、だ、と、い、い、う、言、葉、が、産、の、よ、う、で、す、む、し、
 ぢ、て、っ、自、分、の、こ、と、と、一、番、知、ら、な、い、こ、と、が、多、す、
 3、と、私、は、自、分、に、も、分、か、り、ま、せ、ん、こ、う、し、て、考、え、て、お、け、
 に、は、な、に、も、分、か、り、ま、せ、ん、こ、う、し、て、考、え、て、お、け、
 の、地、で、育、つ、た、人、と、仲、良、く、で、ま、さ、う、か、ど、う、か、私、
 い、よ、う、な、環、境、に、自、分、が、適、応、で、ま、さ、う、の、か、異、国、
 ん、ど、い、な、い、と、い、う、自、分、が、経、験、し、た、こ、と、の、な、
 3、人、も、日、本、人、と、し、て、の、考、え、方、を、す、る、人、も、ほ、と、
 話、が、ど、の、く、ら、い、通、用、す、る、の、か、日、本、語、の、分、か、
 こ、と、が、あ、り、ま、せ、ん、。、な、の、で、海、外、で、自、分、の、英、
 3、こ、と、の、三、つ、で、す、。、私、は、今、ま、で、日、本、か、ら、出、た、
 文、化、に、触、れ、知、る、こ、と、外、国、人、の、友、だ、ち、と、異、
 私、の、目、標、は、英、語、カ、を、向、上、さ、せ、る、こ、と、異、
 と、思、い、ま、す、。、
 私、の、目、標、や、や、り、た、い、こ、と、な、ど、を、発、表、し、た、い、
 ま、ず、今、回、マ、シ、ア、に、行、く、に、あ、た、て、の、

りすうなことは絶対にあります。文化
化と好きと言っています。他国
文化の発展と嘲笑した
文化や精神が好きで、その
生のときから茶道と習って、
日本の文化と比較です。秋は
て、二番目にやろうと思っ
よ、二番目に、そして、思
自分の時間が増えたので、普
見たいな気がします。夏休み
ためには、日本にいらる今で
一スミ見比べたいと思っ
いらるものかもしれません。報
とは限りません。そこで、日
で、報道される日本では、報
見たり、新聞を讀んだりす
て、いらるものと、二番目に
た、たくさんあります。まず、
（そして）この研修を通して、
とても楽しめました。この

話	い	ア	あ	日	和	う	ん	ら	い	例	す	化	う	か	れ	分	ま	個	と
な	こ	み	あ	本	賛	で	と	い	て	え	。も	そ	こ	が	た	た	り	人	は
の	そ	ま	と	大	さ	し	並	た	考	ば	ろ	知	と	優	も	ち	だ	集	
で	う	と	言	震	れ	し	ぶ	た	え	東	こ	り	は	れ	の	の	け	団	
す	で	と	え	災	ま	う	こ	い	る	日	ん	長	あ	て	い	集	で	の	
か	す	ま	ま	で	し	。し	と	支	と	本	。こ	所	り	い	る	団	作	中	
、	。	た	す	の	た	か	に	援	し	大	。こ	や	え	て	な	に	ら	で	
そ	こ	違	。	行	。	し	対	物	ま	震	。こ	短	ま	ど	環	こ	も	伝	
り	。こ	う	し	動	こ	し	し	資	す	災	。こ	所	せ	ら	境	こ	の	わ	
人	。こ	考	か	は	う	。	て	と	。	で	。こ	に	。	か	に	の	の	り	
た	。こ	え	し	、	見	こ	日	受	世	の	。こ	つ	私	が	各	考	で	、	
ち	。こ	と	。	日	て	の	本	け	界	り	。こ	い	は	常	国	え	は	広	
は	。こ	持	も	の	い	と	人	取	各	日	。こ	て	。	。	の	方	あ	ま	
日	。こ	つ	。	文	る	は	は	る	国	本	。こ	考	て	。	い	や	り	。	
本	。こ	人	と	化	限	多	普	た	日	人	。こ	え	い	。	。	。	。	。	
人	。こ	が	広	の	り	。	通	め	本	の	。こ	。	。	。	。	。	。	。	
の	。こ	い	い	長	で	。	た	に	今	行	。こ	。	。	。	。	。	。	。	
行	。こ	る	目	所	は	。	。	。	国	動	。	。	。	。	。	。	。	。	
動	。こ	人	で	。	。	。	。	。	。	に	。	。	。	。	。	。	。	。	
は	。こ	が	見	で	東	。	。	。	。	つ	。	。	。	。	。	。	。	。	

原稿を書くために調べたものとして読むことができず、
このインターネットで調べた。自分か聞いたこと
の姉もいますから、国際関係の知識はそこそ
ろたりました。それは、私が知って、情報は、
の原稿を作成して、送る途中、思っていたことか
発表させていた。ここで、このスレ、
さて、ここまで目標ややりたいたいことなど
して、どちらの行動も考え方も正しく、間違
化の長所だと言おう人は少ないでしょう。か
と強く思うのでしよう。日本人の行動と文
そ、一分一秒でも早く家族に物資と届けたい
一番大切なものは、家族である。あり、か、こ
と感じる。そうですね。この考えと持つ人々にと
ういえる。家族が待っている。いる。に、な、並ぶ
の。

ことと忘れられてしまいましたが。しかしこの夏、
今まで液晶画面越しで見ただけのことのないよ
うな場所に行き、今までは違う言語や目線
で情報が入ります。このときかです。私はこのマシ
ンで研修は、自身と大きく成長させるチャンス
だと、思っています。このチャン
スと作って下さった市原ロリタリィクラブの
皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。
ました。

こんにちは。

市原中央高校インターアクトクラブ 2 年の末吉美晴です。

私には交換学生派遣プログラムに参加してやりたいことが 3 つあります。

まず、1 つ目。マレーシアは多民族国家なので色々な民族の文化があると思います。ホストファミリーとの生活や現地の学生さんとの交流を通じて、生活や食事などにどのように影響しているかということを知りたいと思います。先日行われたオリエンテーションの際に、ロータリアンの上條さんのお話を聞き、ヒन्दウー教やイスラム教の方たちの食生活に興味を持ちました。ですから、自分で事前に調べるとともに、実際に現地に行った際、ホストファミリーの方がそれらの宗教の方だった場合には、ぜひお話を聞きたいです。そうすることで、今まで関わりのなかった宗教を具体的に知ることができると思います。そして可能な限り、その宗教の生活に合わせた生活を送っていきたいと思います。

2 つ目はホストファミリーはもちろん、現地の学生さんとの交流を深めるということです。ホームステイ先では、積極的に話をし、お手伝いをしたりするなどして、絆を深めたいです。また、マレーシアのインターアクトクラブ、そして、ロータリークラブはとても活動が活発だとお聞きしています。インターアクトクラブの活動はどのようなことをしているのか。ロータリークラブの方には、どのような形で活動を支援してもらっているのかなど聞き、現地で交流を深め帰国後も連絡を取り合い、お互いの活動の活性化に繋がっていきたいです。

3 つ目は、マレーシアという国についての理解を深めることです。私はマレーシアに行くのは初めてです。マレーシアについては、インターネットやガイドブックなどでしか調べることができません。百聞は一見に如かずということわざがあるように、実際自分で見て、体験してマレーシアという国について具体的に知って行きたいです。また、クアラルンプールなどの都市はとてもきれいでめまぐるしいほどに発展していると聞きました。

また、楽しく有意義な研修を送るために、体調管理に気をつけたいと思います。

私は先日オーストラリアに約 2 週間ホームステイをしました。南半球であるオーストラリアは冬で、日中は暖かいのですが、夜は 8℃くらいまで冷え込みます。その温度差のため私は体調を崩してしまい、ホストファミリーに迷惑をかけてしまいました。マレーシアは日本と同じく夏ですが、楽しく研修を送るためにも体調管理をしっかりしたいです。クーラーにも弱いので、着衣類の管理をするなど、気をつけて行きたいと思います。

今回、マレーシアに行くのは初めてで、不安はあります。ですが、出国までサポートしてくださるロータリアンの方たちや木嶋先生。そして、現地でお世話になるホストファミリーの方。たくさんの方のサポートのもと、研修に参加できることに感謝し、充実した研修期間を過ごせるようにしたいです。そのために、私自身も事前にマレーシアのことについて調べ、準備を怠ることのないようにしたいと思います。このような機会をくださったロータリアンのみなさんありがとうございます。オリエンテーションの際に言われた、小さな親善大使という言葉のように、マレーシアと日本を繋ぐ架け橋になればと思います。

最後になりますが、いつも活動を支援してくださっているロータリアンのみなさんありがとうございます。このような派遣プログラムに今回参加できるのも、ロータリアンの方々のおかげです。

市原中央高校のインターアクトクラブの代表として、日本の代表として恥のないよう、マレーシアでもインターアクターとしての気持ちを忘れずに有意義な時間を過ごしていきたいと思います。

市原中央高校 インターアクトクラブ 2年 末吉美晴